

平成31年度国保事業費納付金等の算定結果【概要】

1 算定結果の概要等

- 国から昨年12月26日に示された係数と市町から提出されたデータをもとに、平成31年度国民健康保険事業費納付金等を算定した。
- 平成31年度における一般被保険者数（年度平均）を203,105人と推計。平成30年度推計値（207,578人）から4,473人減少する見込み。
- 上記のうち、70歳以上の被保険者数（年度平均）を57,596人と推計。平成30年度推計値（49,746人）から7,850人増加する見込み。

○被保険者数の推計結果

| | 平成31年度 | 平成30年度 | 増減 |
|---------|----------|----------|----------|
| 一般被保険者数 | 203,105人 | 207,578人 | ▲4,473人 |
| うち70歳未満 | 145,509人 | 157,832人 | ▲12,323人 |
| うち70歳以上 | 57,596人 | 49,746人 | +7,850人 |

(1) 医療分

- 平成31年度における1人当たり診療費を456,679円と推計。平成30年度推計（440,531円）と比べ、16,148円増加する見込み。
- 平成31年度における診療費総額を約927億5,382万円と推計。平成30年度推計（約914億4,444万円）と比べ、約13億937万円増加する見込み。

○診療費の推計結果

| | 平成31年度 | 平成30年度 | 増減 |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| 一般被保険者分 | 927億5,382万円 | 914億4,444万円 | +13億937万円 |
| うち70歳未満 | 564億7,772万円 | 594億3,807万円 | ▲29億6,034万円 |
| うち70歳以上 | 362億7,609万円 | 320億637万円 | +42億6,972万円 |

平成31年度国保事業費納付金等の算定結果【概要】

1 算定結果の概要等(続き)

- 70歳以上の被保険者に係る診療費を、約362億7,609万円と推計。平成30年度推計（約320億637万円）と比べ、約42億6,972万円増加する見込み。
 - ・ 70歳以上の被保険者に係る1人当たり診療費は、629,837円であり、平成30年度推計値（643,396円）と比べ、13,559円減少
 - ・ 70歳以上の被保険者数が平成30年度推計（49,746人）から7,850人増加
 - 年齢調整後の医療費指数（全国平均＝1）は、最大が坂出市の約1.21、最小が多度津町の約1.07であり、県平均は約1.14。
 - 1人当たり平均所得（医療分）は、最大が直島町の695,676円、最小が小豆島町の407,098円。県平均は498,875円。
- (2) 後期高齢者支援金分
- 国が示した1人当たり負担見込額は、61,742円で、平成30年度（59,476円）より2,266円増加。
- (3) 介護納付金分
- 国が示した1人当たり負担見込額は、71,871円で、平成30年度（67,900円）より3,971円増加。
 - 平成31年度における介護保険第2号被保険者数（年度平均）は、58,239人と推計。平成30年度推計値（60,079人）から1,840人減少する見込み。
- **各市町の納付金額・標準保険料率**
別添のとおり

2 県が示す算定結果と市町における保険料率

- 市町は、県が示した納付金額、保険料必要額等を参考に、収納率見込み、基金からの繰入等を考慮して、保険料の算定方式（3方式、4方式）、保険料率等を定める。
- ※ 県が示す標準保険料率は、同じ尺度で市町ごとの保険料率を見るためのものであり、市町ごとの事情（基金からの繰入等）を考慮していないため、市町が定める保険料率とは必ずしも一致しない。